

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
47	東京純心大学	パイプオルガンB	鎗木 陽子 看護学部 客員教授	1	後期	金	15	14:40～16:10	東京純心大学	5

【到達目標】

1. パイプオルガンの歴史と構造を理解し、楽器に関する正確な情報を説明することができる。
2. パイプオルガン特有のタッチを習得し、指先と耳を用いて1本1本のパイプを美しく発音させることができる。
3. 讃美歌・聖歌、独奏曲のレパートリーを増やし、礼拝、ミサ、また保育現場の行事における奏楽に応用できる。

【授業の概要】

パイプオルガン（以後オルガン）の歴史は古く、はるか紀元前まで遡ることが出来る。中世、ルネッサンス、バロック、19世紀から現代に至るまで、様々な国と時代の作品を演奏することを通して、その当時の息吹を感じ取り、それを私たちの文化にどう生かしていくかを研究する。授業には江角記念講堂の大オルガンを使用し、クラスの中で互いに聴き合いながら、パイプオルガンAで修得した奏法と知識をさらに深めていく。また学外の教会にも出向き、さまざまなオルガンと、音空間に出会う機会も作る予定である。

【授業内容】

1. パイプオルガンを知ろう
2. 「ピアノ表現法」の課題曲をオルガンで弾こう
3. 足鍵盤のテクニック1
4. 足鍵盤のテクニック2
5. 讃美歌を弾く1 — ひとりで弾く—
6. 讃美歌を弾く2 — 弾き歌い—
7. 讃美歌を弾く3 — 足鍵盤をつけて弾く —
8. 讃美歌を弾く4 — 伴奏として弾く—
9. カトリック聖歌・典礼聖歌を弾く1— ひとりで弾く—
10. カトリック聖歌・典礼聖歌を弾く2— 弾き歌い—
11. カトリック聖歌・典礼聖歌を弾く3 — 足鍵盤をつけて弾く —
12. カトリック聖歌・典礼聖歌を弾く4 — 伴奏として弾く—
13. バロックの小品を弾く1（手鍵盤）
14. 連弾でオルガンを弾こう
15. バロックの小品を弾く2（足鍵盤付き）

【成績評価方法】

作曲家・作品に関するレポート 30%、平常点（日々の練習、授業態度、学修意欲）30%、実技試験 40%

レポートの採点基準は「作品の背景、作曲家の特徴を理解し、自分の言葉で曲の解釈を述べている」という点である。

実技試験の採点基準は、「曲の特徴を理解し、オルガンという楽器を十分に鳴らすことができている」という点である。

【教科書】

必要に応じて課題曲を指定する

【参考書、教材等】

松居直美、廣野嗣雄他『オルガンの芸術 歴史・楽器・奏法』（道和書院）

近藤岳（編著）梅干野安未・松岡あさひ（著）『オルガン奏法——パイプでしゃべろう！パイプで歌おう！』（道和書院）

椎名雄一郎『パイプオルガン入門』（春秋社）

※ この授業は、9/15（金）が初回です。